

敷島北小学校だより

令和5年4月14日

学校長 増坪広夫

令和5年度がスタートしました！

令和4年度末の人事異動により、新しく赴任いたしました校長の増坪広夫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。長い歴史の中で、学校と児童・保護者の皆様、地域の皆様で築きあげてこられた敷島北小学校の教育を継承し、さらに充実・発展させていくために、教職員一同、チームとして教育活動に邁進してまいります。地域そして保護者の皆様の御支援と御協力をいただけますようお願いいたします。



さて今年度は4月7日(金)に始まりました。体育館で新任式と始業式が行われ、全校児童187名の学校生活がスタートとなりました。今年度はALTなど兼務の職員等を含めると31名の職員が敷島北小学校の教育活動に関わっていきます。全校児童と全職員が力を合わせて、この敷島北学校を充実・発展させていきたいと思っております。どうぞ、よろしく申し上げます。

さっそくですが、本校の学校教育目標は、次のようになっています。

学校教育目標

ともに学び、ともに生きる、心豊かな子どもの育成

よく学び
よく考える子
(知育)

目指す児童像

ともに
学び



健康で
たくましい子
(体育)

ともに
生きる



こころ
豊かな子

思いやりのある子
(徳育)



聞く×聴く 耳と目と心で

新任式では、児童会長の望月陽茉莉さんから児童代表としてあたたかい歓迎の言葉をいただきました。心のこもった言葉が心に響き、さっそく敷島北小学校の子どもたちの良いところを見つけることができうれしく思います。

全校の前で話をしていると、目が合う子がたくさんいました。つまり相手の目を見て聞いているということです。単に「聞く」ではなく、耳と目と心で「聴く」ことができている子がたくさんいました。始業式の校長の話では「みなさんの良いところを、全校の『当たり前』にしましょう」「みなさんのパワー（良いところ）をたくさん見せてください」というお願いをしました。子どもたちと先生方がいろいろな場面で活躍することを期待しています。

入学式は4月6日に体育館で挙行されました。入学生と保護者、職員、来賓、そして在校生の代表として6年生が参加しましたが、学校のリーダーとしてメッセージと歌をプレゼントしました。



校長の式辞ではこんな話をしました。

校長のことば（式辞） ※一部抜粋

～略～

28名の1年生の皆さん、入学おめでとうございます。みなさんの入学、本当に楽しみにしていました。いま担任の先生に名前を呼ばれて元気に返事ができましたね。これでもう敷島北小の立派な1年生です。ところで1年生の皆さん、学校は何をするところか知っていますか。

学校はみんなが幸せになるための勉強をするところです。

本を読んだり、文字を書いたり、計算をしたり、新しいことを覚えたりすることはもちろんですが、お友達と仲良くするにはどうしたらいいのか、病気などをしないで元気に過ごすにはどうしたらいいか、いろいろなことを勉強するところです。なんだか難しそうですね。でも大丈夫です。

先生の話をしっかり聞いていると、みんなできるようになります。

「よく学んで」「思いやりのある」「たくましい」1年生になってください。

～略～

全校児童すべての子どもたちを、私たち教職員が責任をもってお預かりいたします。

はきものをそろえると心がそろう

4月の初めに先生方をお願いしたことがあります。それは「下駄箱のはきものをそろえる」ことです。担任から子供たちへの指導が入ったと思いますが、靴がそろった児童玄関は、なんとも気持ちのよいものです。

「全校みんなが心をそろえて行うことで、小さなことにも心を配れる子供になってほしい」という願いで取り組んでいます。

基本的な生活習慣の一つでもあります。ご家庭でも当たり前のようにできるといいなと思います。

